

# 目指すは情報処理の国際大会

水橋さん(松本秀峰校)

## 全国大会出場へ

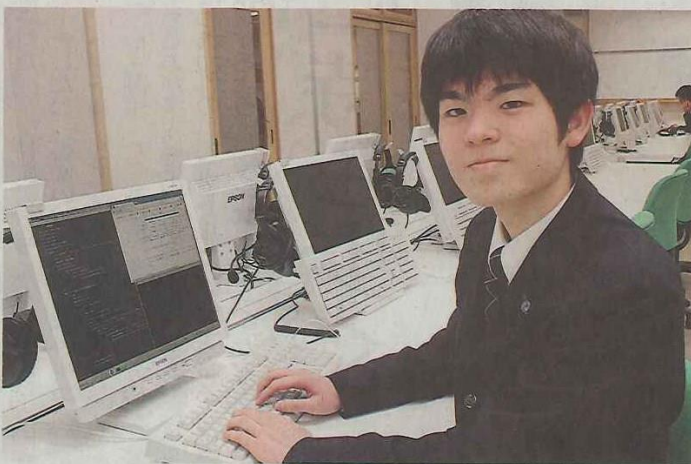
松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校四年(高校一年)の水橋大瑤さん(さか)が、茨城県つくば市で十三、十四日に開かれる「第十五回日本情報オリンピック」の本選に出場する。県内からの出場は水橋さんだけで、全国の強豪に負けまいと意気込んでいる。

(北村希)

大会は、NPO法人情報オリンピック日本委員会が主催し、高校生以下の主眼に中学・高校生を対象。コンピュータをプログラミングして情報処理の速さなどを競い、時間内に与えられた課題を正確に処理できるかが審査される。

本選には全国の高校などから約八十人が参

独学で予選通過 準備着々と



「日本情報オリンピック」の本選に出場する水橋さん。松本市の松本秀峰中等教育学校で

加する予定で、上位十〜二十人が来年ロシアである国際情報オリンピック

ピックの合宿メンバーに選ばれる。予選は年一回あり、水橋さんは昨年十二月、自宅のパソコンを使ってオンラインで予選に参加。六百点満点で四百二十点の高得点を獲得して予選を突破した。水橋さんは、中学一年のときに学校の課外授業でコンピューターのプログラミングに初めて触れ、興味を持った。以来、本やインターネットなどで独学で学んできた。「何にもない状態から始まり、期待通りにコンピューターが動いてくれるとうれしい」とプログラミングの魅力を語る。本選に向け、現在は毎日約一時間、さまざまな課題を処理しながら準備しており、水橋さんは「参加者ばかりだが、合宿に参加できるように頑張りたい」と話している。